

ROTOBO

Connecting Markets

## ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)4月15日号 No.1955

## 目次

■ 2023～2024年のロシア・NIS諸国の経済(上) .....	1
■ 統計速報 .....	10
2024年1～2月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績/10	
2024年1～2月の日ロ貿易/11	
■ トピックス .....	14
ウクライナ投資協定の改正交渉へ向け協議/14	
第2回日ウクライナ農業復興戦略合同タスクフォース/14	
日ウクライナ外相電話会談/14	
EU、対ロ制裁第14弾を検討/14	
米英、ロシア産アルミ・銅・ニッケルを禁輸/14	

## 2023～2024年のロシア・NIS諸国の経済(上)

## はじめに

『経済速報』では毎年この時期、前年のロシア・NIS諸国(旧ソ連の新独立諸国)の経済統計を紹介し、各国の最新の経済動向について論評するという企画をお届けしている。本年も2023年のデータがほぼ揃ったので、早速それを試みたい。なお、モンゴルは一般的にはNISの範疇に入らないが、本レポートの対象に加えている。

まず今号では、全13カ国の主要経済指標を図表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルのレビューは次号で扱う予定である。各国レビューの執筆は当会ロシアNIS経済研究所のスタッフによるものであるが、ロシアについては北海道大学の田畑伸一郎名誉教授、ウクライナについては北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの服部倫卓教授にご寄稿いただいた。

最後に、図表のデータについてであるが、ジョージアは2009年8月に独立国家共同体(CIS)から脱退しているので、CISの統計データに含まれないこと、脱退の意向を表明しているウクライナとモルドバも、CIS統計委員会へのデータの提供を停止したため、CISの統計データに含まれないことに注意願いたい。